



こまどり支援学校
伝えようみんなの学び 感染予防をして『学習発表会』開催



中田小学校
三密を避けての分散型の学習参観



福田小学校
『世界に1つだけのオリジナルデコマスク作り』



木津小学校
『変革を求めて』コロナという世界を糧に、新たなPTAの在り方を創る



野村小学校
実物大の太仏を描くぞ

◆ 第8回富山県PTA会員大会 ◆



今年の大会は、マスク着用はもちろん、受付では、消毒や検温、体調チェックシートへの記載やリストバンドの装着、また会場内においても人数は制限され、その他の参加者は別会議室でリモート視聴するなど、大変工夫された大会でした。

また、コロナ禍での開催ということもあり、これまでと少し違った大会であるという印象を受けました。内容も、PTA発表や基調講演等に加え、今年は『将来構想検討会議発表』が示されました。

今年度単P会長を引き受けたのですが、従来のPTA活動のほとんどが中止、縮小され苦勞しており、何か今後の活動について良いアイデアはないかと悩んでいた自分にとって、大変有意義な発表でした。

今後変わりゆく社会情勢に沿って、変化、見直しがPTA活動においても必要であるということや、示された将来構想における答申事項の一つ一つがこれからの活動の在り方についてヒントをいただいたような気がしました。

最後にこのような状況下で、大会の開催にご尽力いただきましたすべての皆様にお礼を申し上げます。貴重な経験を本当にありがとうございました。

令和2年度 PTA関係者表彰（受賞）一覧（敬称略）

◎日本PTA全国協議会会長表彰
高岡市立中田中学校PTA（会長 窪田 豪）

○富山県PTA連合会受賞一覧
<感謝状>
木間 幸雄 前高岡市PTA連絡協議会副会長（中学校部会長）
前富山県PTA連合会広報委員長

<表彰状>
高岡市立石堤小学校教育友会（会長 山田 尚徳）
高岡市立芳野中学校PTA（会長 筏井 哲治）

高岡市教育委員会・高岡市への要望事項

- 子どもたちの連続した成長を切れ目なく支援する教育環境の整備充実
①高い資質をもった教員の増員・確保、教員の多忙化の解消と教育の質の確保
②防犯カメラ等安全施設の拡充及び危険箇所への補修の実施
③安心して部活動・課外活動ができる環境整備
④ものづくり・職業体験の充実
- 基礎基本の徹底と個性が輝く Society5.0 の未来を拓く学びの充実
①ICT教育の推進・充実
②スタディメイト・スクールカウンセラーの拡充と、児童生徒一人一人に寄り添う教育の推進
- 絆を深め、ふるさと高岡に愛着と誇りを育む地域ぐるみの学びの推進
①いじめの早期発見と未然防止に向けたより一層の取り組み
②地元企業との協業による、高岡ならではの学びの推進
③地域行事への積極的な参画
- 共に生き共に創る、地域に活力を生み出す人生100年時代の学びの推進
①公民館、コミュニティセンターなどでの学習環境の整備
②夢や希望を育み、健康を支えるライフステージに応じたスポーツの振興
③部活動・課外活動での支援機会充実の取組み
④文化創造都市高岡の優れた歴史・文化の保存・活用とさらなる創造
①「高岡の歴史文化に親しむ日」の市内企業への理解と協力の依頼
- その他
①学校教育予算の拡充
②医療的ケアの児童生徒、卒業生が利用できる事業所の増設<こまどり支援学校>
③コロナ禍における学校活動、PTA活動の明瞭化

広報たかおか第162号編集スタッフ											
編集後記			今年度では、今年度のテーマである「コロナに打ち克つ」を通り各学校のコロナ対策を講じた学校活動の紹介をしています。								
今年度は、新型コロナウイルスにより多くの活動が自粛となる中、各学校では様々な対策の検討を行い、一つ一つでも学校行事が実施できるよう努力されてきました。また日常に戻るには期間を要すると思われ、これからの子どもたちが少しでも思い出を作っているようPTAとして協力していきたいと思っています。			最後に、今回の発行にあたり各協力いただきました各、各校PTAの皆様、アドバイザー、先生方、並びに広報委員の皆様へ感謝申し上げます。								
国吉義務教育学校 関澤			委員長 滝口 浩史 副委員長 塚本 輝子 委員 好川 貴治 森六ツ 小原 優子 市P関連 大井 宏之 単P紹介 成瀬 敬一 副会長 仁岸 潤 会長 関澤 宣彦								

合同リモート講演会

未だ猛威を振るう「新型コロナウイルス」は、学校生活のみならずPTA活動にも大きな影響を及ぼしました。多くの学校では、感染拡大防止の観点から様々な活動を中止または延期を余儀なくされたことと思います。高岡市PTA連絡協議会（以下、市P連）も同様に苦渋の決断をせざるを得ませんでした。

未知のウイルスを前に、平穏な日常が奪われ先の見えない不安な状況の中ではありませんでしたが、コロナ禍の現状を踏まえ、市P連の各委員会主催の活動が乱立しないよう、特例的に、第一部を小・中学校部会が担当し、第二部を家庭教育委員会及び教育環境委員会が担当する合同開催としました。

第一部では、厚生連高岡病院総合診療科 診療部長 狩野 恵彦（かりのしげひこ）先生をお招きし、新型コロナウイルス感染症を正しく認識し、感染症についての学びを深めました。

第二部では米谷教育長と市P連宮田会長による対談を実施しました。米谷教育長からは今後の取組みなども聞けて有意義な対談となりました。

今知るべき「新型コロナウイルス感染症の情報」を、今活用すべき「ICT」を使用して行った今回のリモート事業は、『新しいPTA活動の形』になりうる非常に有用な取組みであったと感じています。

今後、教育現場にICTが導入されることで、これまでの教育方法が大きく変化する可能性があります。コロナ禍を奇貨とし、多様性を認め合う新たな学校教育へと繋がることを期待しています。

PTA役員研修会

2月8日（月）、リモートにて「PTA役員研修会」が開催されました。単Pの発表では、コロナ禍での取組みやPTAとしての思いなどが述べられました。委員会の発表では、苦勞した点や今後の取組み方について提案がされました。



福岡小学校PTA会長
山口 克次

本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、例年のPTA活動等の開催は大変困難な状況でした。しかし、「ピンチ

をチャンスに！」を合言葉に、愛する子供たちのためにできることはないかと考え、規模は小さいのですが、先生方、地域の方々、PTA会員の皆様にご協力により、新規事業を開催することができました。

今後も、本年度の経験を活かし、PTA活動に尽力していきたいと思います。



高陵中学校PTA会長
佐野 公俊

高陵中学校PTAの発表は「校区の特徴」「学校の特色」「PTAの組織や委員会の活動内容」「コロナ禍でのICT活用の取組み」「小中一貫校へ向けて」などを盛り込みました。

本年度は予定していた活動がままならず、もどかしい思いもしましたが、発表資料を作る過程で、今までの活動を振り返り、その意義を考えるきっかけになりました。よき伝統を受け継ぎつつ、新たな時代の変化に対応していく必要があると感じました。

総務委員長 津田 晋也			給食・保健委員長 二口 智子			教育環境委員長 石工 純也			家庭教育部委員長 川田 梨恵		
各単位PTAが抱える要望や意見を集約し、改定された高岡市教育大綱にもある「未来創造のひとづくり・ふるさとづくり」をテーマとし、要望書を作成し提出しました。子供たちのため、一つでも多くの要望が叶うことを期待しております。			高岡市学校給食会に属し四つの専門委員会で協議・検討を行いました。安全安心なおいしい給食を提供するため多くの方々から学校給食に携わっています。学校給食の素晴らしさを再認識した一年でした。			教育環境委員会と、「合同リモート講演会」第二部の対談を企画・運営しました。コロナ禍の今、気になるテーマについて情報共有ができて、不安や悩みを少しでも解消できたかと思えます。			高岡市PTA連絡協議会と、「合同リモート講演会」第二部の対談を企画・運営しました。コロナ禍の今、気になるテーマについて情報共有ができて、不安や悩みを少しでも解消できたかと思えます。		
年二回の発行になったことや市P連ホームページについて話しました。特集「コロナに打ち克つ」では、コロナ感染予防をした各校の取組みについて掲載しました。残念ながら掲載できなかったものについてはホームページに掲載する予定です。			年二回の発行になったことや市P連ホームページについて話しました。特集「コロナに打ち克つ」では、コロナ感染予防をした各校の取組みについて掲載しました。残念ながら掲載できなかったものについてはホームページに掲載する予定です。			年二回の発行になったことや市P連ホームページについて話しました。特集「コロナに打ち克つ」では、コロナ感染予防をした各校の取組みについて掲載しました。残念ながら掲載できなかったものについてはホームページに掲載する予定です。			年二回の発行になったことや市P連ホームページについて話しました。特集「コロナに打ち克つ」では、コロナ感染予防をした各校の取組みについて掲載しました。残念ながら掲載できなかったものについてはホームページに掲載する予定です。		



国吉義務教育学校PTA

会長 山村 紘次

国吉義務教育学校の開校から少し日をあけ、令和2年4月24日に国吉義務教育学校PTAが発足しました。

令和2年度は、子供の安全を第一に、密を避け、人との接触を減らしながら、手探りでPTA活動を行っています。実際に人が集まる親子活動や講演会などはできませんが、今でできることに一つずつ取り組んでいます。運動会では、保護者の観覧場所に制限がありましたので、PTAで動画撮影をしてみなさんに配布しました。

令和2年度の活動方針は、「共に学び、共に成長し、未来を切り拓こう」です。

子供たちや私たち保護者を取り巻く環境が著しく変化するなか、PTA活動を通じて保護者自身も学び成長し、子供たちとの触れ合いを深め、ひいては地域全体の教育力向上に繋がるようなPTA活動を目指します。



PTA活動をしていて感じるのは、地域の皆様がとても協力的で、いろいろと助けてくださるということです。国吉の未来をつくっていく子供たちの健やかな成長に、これからもみんなの力を結集していこうと思います。



シリーズ 単P紹介



国吉義務教育学校、五位中学校区編



五位小学校PTA

会長 山本 大輔

本年度から石堤小学校、東五位小学校が統合して、五位小学校が開校しました。PTAもその役割や行事の内容のすり合わせを統合に向けて行ってきました。

今年度は始まりから活動が制限されることになってしまいましたが、これまでもいくつかの活動を行うことができました。開校式と入学式の様子や、教職員及びPTA執行部のメンバーを地域のみなさんに紹介するために、1学期には広報誌を発行しました。6月からは、マスク、手袋を着用して、三密を避けながらの資源回収も年4回の予定で実施しています。また、9月からは登校時間に合わせて、校舎の入口や石堤地区のバス停でのあいさつ運動を月に1回の予定で実施しています。



今年はコロナ禍とともにPTA活動も大きく変化せざるを得ないのですが、「走れ！五位っ子大会」「授業参観・作品展覧会」の運営協力を行ったように、子供たちの学校生活がより豊かななる活動を進めていきたいと考えています。



五位中学校PTA

会長 谷内 英哉

フロンティア精神をもったたくましい子供、五位を愛し世界に目を向ける子供を育てる。というコンセプトのもと、五位中PTAは、昨年度同様「元気・感謝・思いやり 我ら五位中応援団」というスローガンを掲げ活動しています。

- ・学年委員会は、各学年の懇談会の企画・運営
- ・生活指導委員会は、あいさつ運動や夜間巡回補導
- ・広報委員会は、広報「五位」の発行
- ・保健体育委員会は、生徒の保健衛生の意識の確保
- ・文化教養委員会は、学ぶ意義の大切さを再考する研修会の推進
- ・総務委員会は、PTA活動の全般の円滑な運営・実行

そして、小中一貫教育を目指す中、やはり、五位小学校・千鳥丘小学校の各PTAとの理解を深めるための交流会を開いたり、地域のボランティア活動の連携をしたり、五位中PTAが中心になって活動しています。

～子供たちを応援したいという気持ちを行動に移すべく～

今年度は、中学校の行事縮小に伴いPTA活動自体も思ったようにできませんでしたが、次年度にこの思いをつなげていきたいと私たち五位中PTAは思っています。



千鳥丘小学校PTA

会長 澤田 純一

2019年末から広がり始めた新型コロナウイルスが猛威を振るう中、千鳥丘小学校PTAでは、今年度「一致団結！一力を合わせ、その向こう側へ」をスローガンとし、未経験の状況も協力して乗り切っていきたいと思っています。

10月に行われた学習参観・作品展示会では、今年度様々な行事ができなくなっている中で、少しでも子供たちに楽しい思い出を残してもらえたらと思い、親交のあるバルーン講師の方をお願いをし、風船で飾り付けをする企画を提案しました。学校側の協力もいただき当日の朝、児童玄関前には創立55年を迎える千鳥丘小学校の「55」を入れたバルーンアートが子供たちにはサプライズで飾り付けられました。児童玄関には「鬼滅の刃」のキャラクターを模した作品が置かれ、子供たちは大喜びで、楽しい気持ちでその日迎える事ができたと思います。

コロナ禍の中で多くのことが制限されていますが、これからも子供たちには一つでも多くの楽しい思い出を残してもらうため、学校と連携しながら活動をしていこうと思います。



特集

コロナに打ち克つ

「よりよい協力方法を
試行しながら継続中」
志貴野中学校

例年の活動を大幅に縮小し、非常時対応における学校側の需要が生じれば優先的に物心両面で応える、という方向性を春先のPTA幹部会で確認しています。

生徒の学力向上と情報共有を遠隔において促進可能とする当校独自の「オンライン教室の開設」、頻繁な広報活動を展開する「ホームページ運用方法の変更」の2点に関して、広報誌発行を休止するなどし、経費組み替えを行うことで、その需要に応えています。また6月よりPTA役員による放課後の校内消毒協力を行い、教職員の皆様の労力削減に寄与する試行を継続中です。

「平常時はベストの追求、非常時はベターの選択」という観点で、次なるベターを模索します。

「全員一丸でコロナウイルス感染防止」
～コロナに打ち勝ち、未来の為に～
南星中学校

PTA活動においては、「子供たちの明るい未来の為に」というスローガンの下、保護者が子供のために出来ることを行ってきました。例年行ってきた親子清掃活動やブランターの植え替え等も、「学校に絶対ウイルスを持ち込まない」という観点から、屋外での活動を基本とし、活動前の検温、マスクの着用を徹底し、三密にならないようソーシャルディスタンスを保ちながら実施しました。運動会や合唱コンクールの動画配信の協力も行いました。コロナ対策としては、特に変わったことをするのではなく、「今、一般に推奨されている、コロナ対策を全員で確実に実施する！」これが我々南星中学校PTAが取り組んだコロナ対策の方針です。



定塚小学校

Google フォームを使ったPTA総会の決議や、PTA役員会もZoomを用い、集まることのできない中でも活動を継続してきました。新しい日常に向けたWEBの活用と保護者の体を張ったアナログな取り組みをミックスさせて、子供たちの安全で充実した学校生活を支えていきたいと思っています。

横田小学校

8月に、高岡西部ブロック4つの小中学校の合同事業として、竹下和男氏を講師に迎え、「弁当の日」オンライン講演会を開催しました。参加希望者は、3密を避けるためオンラインシステム（Zoom）を利用して自宅から参加し、竹下先生には、香川県のご自宅より講演いただきました。

平米小学校

執行部会を再開する際に、全員学校参加ではなく、Zoom参加希望者は自宅からのオンライン参加ということで、部会を開催しております。案内配布や意見交換に対しても、執行部全員が参加している共通LINEやGoogleドライブにて共有することにより極力書面渡しを減らしています。



Part 2 ～未来のために～

YouTube
ライブ配信
高岡西部中学校

今年度、学校祭のステージ発表を「ライブ配信」にて保護者や地域の方々に届けることが出来ました。前例のない取組みでトラブルも多々ありましたが、頑張る生徒らの姿を観た多くの方から喜びの声为学校に寄せられ、実施して良かったと改めて感じています。タブレット端末が支給され、ICT活用が求められる中、今回の取組みはその第一歩に過ぎません。今後、ICTを活用した取組みは「新しい生活様式」として定着すると期待しています。

手洗い励行
戸出中学校

「手洗い」「マスク」「換気」感染拡大防止の基本です。本校では、手洗いの水道蛇口をクロスハンドルと呼ばれる従来型のものからロングレバーハンドルに交換しました。ロングレバーハンドルは操作性が高く、肘を使って操作することができるので、手指が触れる心配がありません。今日も皆で手洗い励行。コロナに打ち克つために頑張っています。

楽しく縦割り遠足
下関小学校

11月6日（金）の午前中、全校による縦割り遠足を行いました。1学期にできなかった学年の枠をこえた交流を目的に、全校児童を色団毎、縦割り清掃班毎の43班に分け、密を避けるために、コースも右回りと左回りの2コースにしました。6年生をリーダーに、チェックポイントでクイズを解きながら歩いて古城公園へ行き、班毎に本丸広場の芝生の上で遊びました。PTAの方にもご協力いただき、子供たちは班のみんなと仲よく活動しながら、我が町「高岡」のよさも味わうことができました。

「運動会最終種目。
一人一人の思いをつないだ全員リレー」
能町小学校

10月2日。秋晴れの中で5月から延期されていた運動会を実施しました。実施に当たり①平日に低中高学年別に実施する②内容は疾走及び全員リレーの二種目のみとする③参観希望の保護者には、検温及び体調管理を依頼する等の感染症拡大防止対応をとりました。また、例年のような学習発表会ができないため、全校児童の作品展を同時開催しました。現況から考えると大いに有意義であったと思います。

